

# 被災文化財 救援フォーラム 七尾2024

1月1日の地震と9月21日の豪雨により能登半島に甚大な被害がございました。  
そして、多くの貴重な文化財にも深刻な被害が発生しております。このフォーラムは、この被災文化財を救援するために現状や課題を整理することを目的としております。このフォーラムの成果が、今後の被災文化財対応に少しでも参考となれば幸いです。

2024 **12/8** 日 13:00-17:00

羽咋市 歴史民俗資料館  
中能登町 ふるさと創修館  
宝達志水町 埋蔵文化財センター  
金沢大学資料館  
石川県立 自然史資料館  
石川県西田幾多郎 記念哲学館  
公益財団法人石川県 埋蔵文化財センター  
野々市市ふるさと歴史館 / 野々市デジタル資料館

のと里山里海 ミュージアム

申込不要  
定員 **200名**  
(先着)  
どなたでも

参加費 **無料**

13:00	開会の挨拶 三浦 要 (金沢大学理事(企画評価・地域共創・広報戦略担当)・副学長)
13:05-13:10	趣旨説明 足立 拓朗(金沢大学資料館長)
13:10-13:55	『七尾市における文化財の被災状況について』 講演① 北林 雅康氏(七尾市教育委員会スポーツ・文化課文化財復旧保全対策室・主幹)
13:55-14:40	『能登半島地震における文化財防災センターの活動』 講演② 小谷 竜介氏 (独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター・文化財防災統括リーダー)
14:40-14:50	休憩
14:50-15:35	『令和2年7月豪雨における 熊本県の文化財レスキューについて』 講演③ 帆足 俊文氏(熊本県教育庁教育総務局文化課・課長補佐)
15:35-16:20	『熊本地震による被災古墳復旧の現状と課題』 講演④ 杉井 健氏(熊本大学文学部歴史学歴史学コース・教授)
16:25-16:50	全体質疑
16:50	閉会の挨拶 谷内江 昭宏 (金沢大学理事(附属病院・同窓会・大学基金担当)・副学長/能登里山里海未来創造センター長)



北林 雅康氏

奈良大学文化財学科卒。専門は考古学。「文化財を身近に!」をモットーに地域に入り込んで活動中。



小谷 竜介氏

専門は文化財防災、日本民俗学。東北歴史博物館、宮城県教育委員会を経て、令和3年より現職。



帆足 俊文氏

熊本県出身。専門は考古学。立命館大学卒。奈良大学大学院修了。平成7年から熊本県教育委員会に勤務。



杉井 健氏

専門は日本考古学。大阪大学埋蔵文化財調査室を経て、平成10年に熊本大学へ。熊本地震被災古墳の修復検討に携わっている。

主催：金沢大学資料館(事業名：能登半島地震被災文化財デジタルアーカイブ事業)

共催：金沢大学能登里山里海未来創造センター

後援：羽咋市歴史民俗資料館、七尾市教育委員会、中能登町ふるさと創修館、宝達志水町埋蔵文化財センター、野々市市教育委員会、公益財団法人石川県埋蔵文化財センター、石川県西田幾多郎記念哲学館、石川県立自然史資料館、石川考古学研究会、金沢大学古代文明・文化資源学研究所

会場 **七尾サンライフプラザ  
(七尾市文化ホール) 視聴覚室**

石川県七尾市本府中町ヲ部38番地

※周辺道路は混雑が予想されます。公共交通機関等をご利用ください。

お問合せ：金沢大学資料館 TEL:076-264-5215 museum@adm.kanazawa-u.ac.jp



<https://museum.w3.kanazawa-u.ac.jp/news/5510/>

